

あの日を物語る被爆建造物

原爆資料館の周辺には、原爆による被害を今に伝える建造物などがたくさんあります。お父さんやお母さん、友達といっしょに、ゆっくりと歩いてみませんか？



※爆心地及び ④ ⑥ ⑧ ⑬ は、平成28年10月3日、国の文化財に指定されました。

1 浦上天主堂遺壁



原子爆弾で無惨に崩れた、浦上天主堂の聖堂の南側遺壁。その一部を移築したものです。

2 被爆当時の地層

原爆で壊れた家の瓦やレンガ、熱でとけたガラスなどが、今でも埋まっています。

3 長崎原爆資料館

1,500点以上の被爆資料などを展示している常設展示室や約28,000冊を収蔵する図書室があります。

4 山王神社二の鳥居

爆心地から約800mのところであり、原爆の爆風を受けながらも、鳥居の片方だけが奇跡的に倒壊を免れました。柱の表面に彫られた奉納者の名前は、熱線の影響で表面が剥離しています。

5 山王神社大クス

原爆の生き証人でもある、被爆した大クス。無惨な傷跡を残していますが、今でもしっかりと根を張っています。

6 旧長崎医科大学門柱



爆心地から600mのところにあった長崎医科大学。爆風のすさまじさで、正門の門柱が傾いてしまいました。

7 被爆した聖像



浦上天主堂の正面入口付近に安置されています。

8 浦上天主堂旧鐘楼

原爆で崩壊した浦上天主堂の鐘楼のひとつが、今も原爆のすさまじさを物語っています。



9 如己堂・永井隆記念館

永井隆博士が住んでいた、2畳1間の家。隣の記念館には、博士の遺品や写真などが展示されています。



10 山里小学校防空ごう跡

小学校の崖に掘られた防空ごうの中で、負傷した多くの人々が亡くなりました。

11 浦上刑務支所遺壁

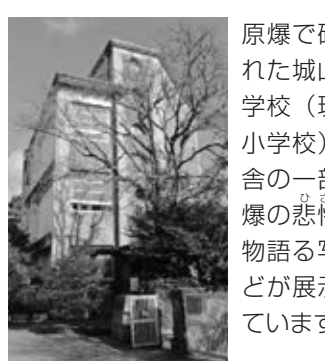


12 長崎市原子爆弾無縁死没者追悼祈念堂



原爆死没者の無縁遺骨などが安置されています。

13 旧城山国民学校校舎



原爆で破壊された城山国民学校（現城山小学校）の校舎の一部。原爆の悲惨さを物語る写真などが展示されています。